

ふれあって！ひろがって！手をつなごう！

第24回

郷土芸能フェスティバル 西大寺

2016



とき 平成28年2月7日(日) 午後1時~4時

ところ 西大寺公民館ホール

主催 西大寺郷土芸能フェスティバル実行委員会
後援 岡山市 岡山市教育委員会 岡山商工会議所西大寺支所 西大寺会陽奉賛会 西大寺観光協会
西大寺商店会連合会 西大寺文化連盟 西大寺学区連合町内会 西大寺ふれあいネット
西大寺ライオンズクラブ (一社)西大寺青年会議所 国際ソロプチミスト西大寺
山陽新聞社 RSK (公財)福武教育文化振興財団
助成 岡山市(岡山市区づくり推進事業)
西大寺冬フェスティバル協賛

開演前にお読みください

- * ホール内での飲食はできません。
- * 携帯電話やアラーム付き時計などの電源はお切りください。
- * 上演中はまわりの人に迷惑にならないようマナーに気をつけてください。

ごあいさつ

『郷土芸能フェスティバル in 西大寺』も今年で24回目となります。西大寺地域では、昔から会陽などを題材とした歌や歴史文化、伝統芸能がたくさんあり、地域の人々に親しまれてきました。

このたび、西大寺会陽が国の重要無形民俗文化財の指定を受け認定されたことは大変喜ばしいことです。この素晴らしい町の伝統芸能や文化を、これからの時代を担う子どもや若者に継承していくことが私たちの使命だと考えています。愛好者の高齢化も進み、郷土芸能を享受する場が少なくなっている現在、この郷土芸能フェスティバルの果たす役割は重要だと感じています。今年は学生枠を設け、多くの若者たちも一堂に会する機会をつくりました。心に響く太鼓や民謡、民踊などを通してふるさとの歴史を学び、育ってほしいと願っています。

また、このフェスティバルを通して、地域の方々と手をつなぎ、地域づくりに貢献していきたいと考えています。演じる人と観客が一体となり感動が生まれます。どうか、最後までお楽しみ下さい。

本日は、多数のご参加をいただき、また、多くの方々のご支援とご協力を頂いたことに心より感謝申し上げます。この郷土芸能フェスティバルが地域の方々に愛され今後も継続して開催できることを願っております。

実行委員長 徳持 昌代



宮坂流津山銭太鼓保存会

演目 「日本花咲音頭、門出、作州追分、貝殻節、東京五輪音頭、
チェスト節」

宮坂流は、昭和46年津山市在住の宮坂身志によって創設されました。郷土芸能としての宮坂流は、銭太鼓を中心に傘踊り、日本舞踊などの基本を守りながら、音楽・衣装・化粧に工夫を加え、完全に現代風にアレンジしたものであります。そのうえ、スピードとアクロバットの面白さを加味し、古い伝統文化の良さに加え、新しい生命を吹き込んだものとして、今、全国で注目を浴びています。全国大会では、日本民謡舞踊大賞で優勝3回、準優勝3回、総理大臣賞、文部大臣賞、東京都知事賞などの受賞歴を持ちます。最近ではテレビ出演も多く、NHKの第47、49回の紅白歌合戦を始め、二人のピックアップ、BSでは民謡日本一決定戦民謡フェスティバル、TBSの日本レコード大賞などに出演しています。このほか自主事業も非常に多く、2年を1クールとし、日本各地でのチャリティーショーを開催して、収益の一部を福祉施設に寄贈させていただいております。また、海外での国際交流にも積極的に参加し、アメリカ、ヨーロッパを始め、アジアを訪問し郷土芸能を通じて、国際交流を図っています。

プログラム

オープニング 「岡山学芸館高等学校 和太鼓」

・雉(きじ) ・紡希(つむぎ) ・和(わ)

第1部「ふるさとの歌や踊り」

- | | | |
|---------------------------------|------|---------------|
| ・さわらじゃ | すず心踊 | 八峰会 |
| ・廻 ^{かい} 華 ^か | 民舞 | 岡山うらじゃ連四季 |
| ・倉敷ひとり雨 | 日舞 | 弘柳会 |
| ・なつかしの永案橋 | 傘踊 | 八峰会 |
| ・大漁の舞 | 民舞 | 農林水産応援隊 |
| ・会陽甚句 | 民舞 | 会陽踊り隊みゆき組 |
| ・岡山の民謡いろいろ (ちくわ笛) | | 住宅 正人 |
| ・北の盆うた | 太鼓 | どんどん WA 太鼓西大寺 |
| ・大和楽「梅」・人生一度 | 日舞 | 藤裕会 |

第2部「若者たちのパフォーマンス」

宮坂流津山銭太鼓保存会

(日本花咲音頭、門出、作州追分、貝殻節、東京五輪音頭、チェスト節)

————— 休 憩 (10分) —————

第3部「西大寺よもやま話」

・安仁神社ものがたり

おにぎり劇団

西大寺高等学校ダンス部・放送部

西大寺小学校有志他

ファイナル

「幸せなら手をたたこう」 みんなで歌おう！ 全員



岡山学芸館高校(和太鼓部)

演目 「雫」(きじ)、「紡希」(つむぎ)、「和」(わ)

岡山学芸館高校和太鼓部は地元岡山に根ざした活動を目指して日々の練習に取り組んでいます。『西大寺会陽はだか祭り』を始め、『ファジアーノ岡山』『岡山シーガルズ』のホーム試合での演奏、また地域のイベントやお祭り、老人ホームへの慰問など多岐にわたっています。

和太鼓は空気振動をともなう圧倒的な音圧の迫力が魅力です。また、人の心を楽しく、元気づける楽器でありながら、どこか懐かしく心が落ち着く『癒し』の楽器でもあります。私たちの元気が見てくださる方に伝わり、見てくださる方も元気になれる、そんな太鼓を打ちたいと思っています。皆様も手拍子をして楽しんでください。

藤裕会 演目 大和楽「梅」

「梅」は一文字舞踊といって、「松」「梅」「寿」「夢」「舞」などの中の一曲で大和楽という古典の中でも比較的新しく美しい曲風のもので、最近日本の古典を聞く機会が少なく残念でなりません。その他、長唄・清本・常盤津・義太夫など、素晴らしい名曲がいっぱいあります。日本人として三味線・琴・胡弓など聞く耳を持ってほしいと願い、古典を踊らせていただいています。

おにぎり劇団

私達おにぎり劇団は「地元の歴史を後世に伝えていきたい」という気持ちから結成し、今日まで地元で縁のある物語を中心にお芝居を続けてまいりました。

公演参加メンバーには主婦や社会人だけでなく、地元高校生や小学生、幼稚園児らと、幅広い年代が作品作りに携わっております。今年も皆様にお楽しみ頂けるような作品に仕上がっていますので、大いにお笑ってください。

安仁神社ものがたり

西大寺一宮にある安仁神社。毎年7月11日、茅でつくった、人が通れるぐらいの大きさの茅野輪を設けて、その輪を「蘇民将来(そみんしょうらい)」と唱えながら3回くぐることで無病息災を祈願する茅野輪くぐりが有名です。今年も安仁神社の起源に迫って行きます。

安仁神社の起源は古く、約2,600年の歴史があります。古くから安仁神社の行事や神事は続いており、そこには私たち日本人が忘れてしまった日本人らしさが息づいています。文化や伝統を後世に伝える事で常に瑞々しく保つことができる常若(とこわか)の思想や、自然から四季の移り変わりや暦を読み取り農耕や行事を行う生活習慣です。しかしそんな日本人らしさも、人を介さなければ受け継がれることはありません。人とのつながりは、つなげ続ける限り切れません。コンピューターの発達した今の時代だからこそ、人とのつながりを大切さにしていきたいです。

ファイナル 幸せなら 手をたたこう

坂本 九(歌) きむらりひと・作詞

幸せなら 手をたたこう
幸せなら 手をたたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 手をたたこう

幸せなら 足ならそう
幸せなら 足ならそう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 足ならそう

幸せなら 肩たたこう
幸せなら 肩たたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 肩たたこう

幸せなら ほっぺたたこう
幸せなら ほっぺたたこう
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで ほっぺたたこう

幸せなら 最初から
幸せなら 最初から
幸せなら 態度でしめそうよ
ほら みんなで 最初から



今回の郷土芸能フェスティバルもたくさんの団体が出演くださいました。それぞれの団体に興味を持ち、チャレンジしてみたいと思われた方は事務局までお問い合わせください。

NPO法人文化☆体験ネット西大寺子ども劇場 TEL 086-942-1544 FAX 086-206-7750